

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インド経済のイメージ」

★★

以下のビジュアルは、私のインド経済のイメージです。車の走行に譬えて、そのスピード（成長性）と安定性を連想しています。

インド経済のイメージ
～新興国の成長力と先進国の技術力が車の両輪～



インドがまだ BRICS の中の一つの新興国であった頃、その経済の成長物語は専らこの絵の左側、つまり大きな国内市場を背景に世界に追いつていく姿でした。インドの車（経済）が走れる交通インフラの整備も徐々に進みました。

しかし、今のインドのストーリーには、デジタルインフラの急速な普及で、右側のハイテクの中心地として世界をリードする先進国の姿が加筆されています。

そのしっかりとした両輪でこれからのインド車はスピードを上げ、同時により安定した走行を長距離続けることが可能になると期待しています。因みに、写真の車のドライバーは、運転技術（経済運営）に長けたモディ首相です。

このような走行が可能な車は世界では他に見当たりません。例えば、経済成長率の1%を車のスピード時速10キロとすると、世界車（世界経済）はコロナが影響した年を除けば大体30キロで走っています。また車種別では、世界最大のアメリカ車のスピードはせいぜい20キロ台です。長く100キロで走っていた中国車は、この先50キロ40キロとスピードを大きく減速しそうな気配です。我が日本車は10キロが精いっぱい、殆ど路肩に止まっているのと変わりません。

ではインドの車はどうか？私は、コロナ前までは平均60キロ程がやっとでし

たが、今後は安定感のある両輪と民主主義国家という車体に支えられ、今まで無かったような高速走行を見せてくれるのではないかと想像しています。